

建設人材育成へ議論 県協会と県、静岡理工科大

県建設業協会と県、
静岡理工科大(袋井市)
は28日、建設業界の人



意見を交わす関係者
＝4月28日、袋井市の静岡理工科大

材確保や育成の課題解決に向けた意見交換会を、2017年度から建築学科を開設した同大で開いた。

各機関の関係者44人が産学官による多角的な視点から意見を交わした。協会側は学生のインターンシップを積極的に受け入れる姿勢を示した。これに対し、環境整備によって県外から優秀な人材の入学促進に期待する声が上がった。大学側は専門的な知識に加えて一般教養の習得に注力する取り組みを説明。各機関による共同研究や包括協定の締結などを図る方針も確認した。

同大の橋本新平常務理事は「企業と知恵を出し合い、課題解決を図る姿勢が求められている」と連携の意義を強調した。